

業務部速報



No. 22

発行 20. 10. 22

JR東労組 業務部

申6号

2020年度末手当等に関する申し入れを行う!

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済的にも大きな影響を与え続け、JR東日本会社が9月16日に発表した2021年3月期の業績予想は、会社発足以降初めての赤字見込みである事は、冷厳な事実として受け止めなければなりません。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大は収束の見通しが立たない中、組合員・社員はもとより支える家族も、感染への不安を未だに抱えています。そのような中においても、変わらず社会インフラとしての使命を全うすべく、健康管理に努め安全・安定輸送の完遂および安心の提供に向けて、今もなお奮闘しています。

JR東労組は、このような現状を認識した上で危機感を共有し、安全を最大の価値基軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指して、赤字・コロナ禍を乗り越えるべく議論を行っています。

年末手当について、職場からは「経営の厳しい現実もあるが私たちの生活もある」「今も変わらず安全・安定輸送と安心の提供に向けて奮闘している」「このような状況下だからこそ社員の期待に応えてほしい」などの切実な声が中央本部に多く寄せられています。このような組合員・社員、その家族の理解・奮闘の現実も労使で強く受け止め、心と生活の安心・安定を実現すべきと考えます。

従って、赤字・コロナ禍においても組合員・社員の雇用と生活を守り、人材の流出を防ぐ観点からも、今こそ「人」への積極的投資が必須であることから、要求満額回答を強く求め、団体交渉を行っていきます。

赤字・コロナ禍においても雇用を
確保し、安定した生活を維持するため

基準内賃金の

2.7ヶ月

新型コロナウイルス感染症

対応に対する特別手当

全従業員(出向者含む)対象

5万円

支払いは、12月4日～9日

回答は、11月13日まで